

## 職業関連科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 semester	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
キャリアデザイン講座	キャリア・イメージを作る	2	猪股 歳之	4	後期 木曜日 3講時	
インターンシップ	インターンシップ(就業・ボランティア体験)	2	嶋崎 啓	通年	集中講義	

**科目名：キャリアデザイン講座／ Carrier Design Course**

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：猪股 歳之

コード：LB44305, 科目ナンバリング：LHM-0AR901J, 使用言語：日本語

**【平成30年度以前入学者読替先科目名：】**

1. 授業題目：キャリア・イメージを作る

2. Course Title (授業題目) : For making a concept of your own profession

3. 授業の目的と概要： この授業では、文学部学生が、日本の経済構造や労働法制といった基本事項について理解を深めるとともに、実際の「働く」現場のあり様について具体的なイメージを持ち、自らの将来のキャリアを主体的にプランニングしていけるよう、キャリア支援センターと共同して実践的な教育指導を行います。取得単位は学部専門教育科目として卒業単位にカウントされます（学生便覧で確認のこと）。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : In this class, students of the Faculty of Arts and Letters will deepen their understanding of basic matters such as Japan's economic structure and labor legislation, have a concrete image of the actual "working" field, and take the initiative in their future careers. We will provide practical educational guidance in collaboration with the Center for Career Support so that you can plan. Credits earned will be counted as graduation credits as an undergraduate specialized education subject (check the Student Handbook).

5. 学修の到達目標：職業生活についての具体的なイメージを得て、自らのキャリアについて主体的に構想していけるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : Students will be able to get a concrete image of their own work-life and think independently about their careers.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. 日本経済の基本構造について(1)
3. 日本経済の基本構造について(2)
4. ビジネス全般について(1)
5. ビジネス全般について(2)
6. ビジネス全般について(3)
7. 公務員
8. 労働法
9. 二十歳のハローワーク（様々な職種で活躍する先輩等による就職講演会）
10. インターンシップ・業界研究セミナー
11. 公務員等業務説明会
12. OBOGによる業界・仕事研究セミナー
13. 自己分析と就職活動(1)
14. 自己分析と就職活動(2)
15. まとめ

8. 成績評価方法：

授業と指定されたセミナー等への出席およびその報告の提出（100%）。

9. 教科書および参考書：

特になし。必要な資料は授業時に配付する。

Necessary materials will be distributed during class.

10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題の準備。日常的に、新聞・ネット等を通じて経済情報に目配りすること。

Prepare for assignments given in class. Keep an eye on economic information through newspapers, news, the Internet,

etc. on a daily basis.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness : ○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他 :

主として実践的教育から構成される実務・実践的授業/Practical business

**科目名：インターンシップ／ Internship**

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：通年 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB98894, 科目ナンバリング：LHM-0AR902J, 使用言語：日本語

**【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】**

1. 授業題目：インターンシップ（就業・ボランティア体験）
2. Course Title（授業題目）：Internship（working and volunteer activities）
3. 授業の目的と概要：実質 10 日間以上（60 時間以上）にわたる企業等での就業体験またはボランティア体験について、2 単位を授業単位として認める。大まかな流れは以下の通りである。
  - (1) 4 月 履修を希望する学生は、ガイダンスに出席し、履修届を提出する。
  - (2) 4 月～7 月 履修学生は、学部が提供する受入企業等の情報をもとに、あるいはみずから情報を収集して、各自インターンシップに応募し、受入内諾書を得しだい教務係に提出する。
  - (3) 夏期休業中 履修学生は、実習を行い、実習修了証明書および報告書・評価書（いずれも学部で定めた様式による）を終了後 1 週間以内に教務係に提出する。
  - (4) 1 月 履修学生は、報告会で報告する。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：インターンシップまたはボランティアを通じて、大学で学んだ知識が実社会においてどのように役立つかを検討する。
5. 学修の到達目標：自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験または震災復興等ボランティア体験を行うことによって、職業適性や資質を正しく認識し、高い意識のもとで主体的な職業選択ができるようにする。また、社会体験を大学での勉強にフィードバックすることで、学生生活をより実りあるものとする。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Through work experience, or through volunteer experiences such as earthquake reconstruction, students will be able to correctly recognize their vocational aptitudes and qualities and make independent career choices. In addition, by feeding back the social experience to the university studies, the student life will be more fruitful.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  1. ガイダンス
  2. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  3. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  4. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  5. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  6. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  7. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  8. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  9. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  10. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  11. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  12. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  13. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  14. 受入企業等での実習、ボランティア活動
  15. 事後報告会での発表
8. 成績評価方法：
  - (1) ガイダンスへの出席, (2) 実習修了証明書の提出, (3) 実習報告書・評価書の提出, (4) 事後報告会での発表
9. 教科書および参考書：

ガイダンスで指示する。

1 0. 授業時間外学習：この科目は、受入企業等での履修学生の実習、あるいは震災復興等ボランティア活動を中心としている。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

(1) 選択必修科目としては2単位を上限とする。(2) 就業体験は、夏期休業中に行うことを奨励する。(3) インターンシップという名称でなくとも、実質それに相当すると見なされる就業体験については、単位取得の対象として認めるので、担当教員に相談すること（福祉・医療施設での実習など）。